

(様式1)

平成26年度 理科シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	学科(コース)	備考
生物	2	3学年	全	選択(3年までの分割履修)	普通科 (全コース)	

1. 科目の目標及び概要

(目標)

- 生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

(内容)

- 環境の変化に生物が反応していることについて観察、実験などを通して探究し、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みを理解させる。
- 生物の個体群と群集及び生態系について観察、実験などを通して探究し、それらの構造や変化の仕組みを理解させ、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識させる。
- 生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、観察、実験などを通して探究し、生物界の多様性と系統を理解させ、進化についての考え方を身に付けさせる。

2. 授業の目標及び授業展開

(1) 授業の目標

- 2年からの継続履修で、第最先端の生物学の情報を加味しながら生命現象をより詳しく、多面的に学習する。
- 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。
- 観察・実験を通して自然を科学的に探求する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
- 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

3. 学習方法

- 授業は教科書を中心に進み、ノートやプリントを使って内容をまとめる。
- 理解度をチェックするために、単元毎に関連問題を解かせる。
- 授業の進度に合わせて実験・実習などを取り入れる。

4. 使用教材

「生物」(東京書籍)

5. 成績評価

(1) 定期考査・実力テストの成績

定期考査においては、知識や理解に偏ることなく、科学的な考えや理解、処理をみるための問題も出題する。

(2) 学習態度等の平常点

各単元や各時間などの学習課程で、出席状況、提出物、授業態度、課題・宿題、小テスト等を評価する。

(3) (1)、(2)を踏まえて総合的に評価する。